

第2回みやぎ観光振興会議石巻圏域会議の主な意見とそこから導かれる論点と事項

令和2年7月16日
宮城県東部地方振興事務所

項目	主な意見	検討すべき論点等	事項
近郊観光 (マイクロツーリズム)	<ul style="list-style-type: none"> ・適疎の表現を工夫する。松島などの密から疎へ。 ・適疎と石巻は親和性がある。適疎の定義が必要。 ・旅行者など地元以外の方の意見を聞くべき。 ・金華山参りで金持ちになれることを関西でPR。 ・若柳出身の有名な脚本家に、地域の魅力を提案してもらう。 ・数日掛けて周遊するエリアとする仕組み。 ・ワーケーションについて、民宿や学校の空きスペースを利用。東京等の企業の事務所ごとの誘致。 ・子育てが終わった世代をターゲットにすると良い。 	<p>今後見込まれる県内等近郊からの観光・宿泊需要に、如何に應えるか。</p> <p>圏域内及び他圏域間の流動化・リピーター化をどのような方策で推進していくか。</p> <p>安全安心を売りにして、地域ぐるみで圏域に人を呼び込む仕組みをどのような方策で構築していくか。</p>	<p>適疎の普及</p> <p>魅力再発見</p> <p>テレワーク等整備</p> <p>インセンティブ付与等</p>
二次交通 (アクセス・トラフィック)	<ul style="list-style-type: none"> ・航路を乗り継ぎ移動できる仕組みはどうか。 ・地域を巡るオプションツアーが必要。(二次交通含む) 	<p>二次交通の利便性を図り、如何に周辺部観光地へも観光客を呼込むか。</p> <p>鉄道・車利用者に対し、主要JR駅経由での周遊観光をどのように構築していくか。</p>	<p>バス・タクシーへの支援等</p>

<p>情報発信 (デジタル・インフォメーション)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光と体験，食を組み合わせたオプションツアーを沢山つくる。 ・優れたコンテンツに採算のとれるオプションツアーの提案。 ・既に素晴らしい観光素材があり，情報発信が大切である。 ・リアルタイムで対応，情報発信するコンシェルジェ。 ・コンテンツも大事だが，最終的にはサービス，おもてなしをする人も大事。 ・オンラインコンテンツは採算をとるのは難しい。地域に来てもらう仕組み。 	<p>観光情報や魅力を発信し、如何に知名度の向上と来訪の喚起を図るか。</p> <p>地域資源を生かした人を引き付ける魅力的なオプションツアーを豊富に造成していくためにはどのような仕組みで、どのような施策が必要か。</p> <p>本県観光のゲートウェイである仙台や松島等の主要観光地からどのようにして石巻地域に人を呼び込むか。</p>	<p>オプションツアー実施</p> <p>情報発信・キャンペーンの実施</p> <p>オンラインツアー</p>
----------------------------------	--	---	---